

沼津アルプス山行報告

【山行日】 2016年 3月 27日(日) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 4:00
【費 用】 マイカー1台 : 5,500円
【メンバー】 CL:鈴木ユ、大西、島田、津佐、
藤原、渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=香陵 P6:30/6:45
=多比登山口 7:10~多比口峠 8:00~
鷲頭山 8:50/9:00~志下坂峠 10:00~徳倉山
10:40/10:50~横山 11:50~八重坂峠 12:15=
沼津港市場 12:30/13:45=岩舟支所 P16:30



岩崎元郎の「新・日本百名山」に選ばれ、人気の沼津アルプスと沼津港市場の美味しい寿司を組み合わせ計画した。

今回は時間の都合上、前回と反対に縦走する「北行き」で歩く計画とした。

香陵台駐車場に車を置き、予約したタクシーに乗って多比の登山口に向かう。

ストレッチを済ませ出発したが、登山口が見当たらない。地元の方が2階のベランダから、声を掛けてくれ登山口を教えてくれた。

舗装道路の坂道を、道路に書かれたペンキマークに従い登って行く。



30分くらい歩き、やっと舗装道が終わり山道に入る。スマレの花に春を感じながらトラバース気味に進み、急な坂道を登ると多比口峠に着く。右に登ると大平山だが、本日は時価が無いのでカットし左の鷲頭山へ向かって進む。少し進むと展望の良い岩場があり、休憩をとり冷たいオレンジで喉を潤す。富士山はすそ野が少し見えるだけだが、愛鷹山や箱根の山々は良く見える。そこからはウバメガシの尾根を歩き、栃木では見られない樹相に感動する。急なアップダウンを繰り返し、「これはBアークの山ではない！」と不満の声が…。どうやら沼津港市場のお寿司に釣られて参加したようだ。「アルプスの名前が付いているのだから」となだめながら急坂をロープに掴まり登って行く。



やっと本日最高峰の鷲頭山山頂に着き、景色を楽しみながらポン柑やロールパンでエネルギーを補給する。ここからまた急坂をロープに掴まりながら降り、登り返すと小鷲頭山山頂へ着き眺望が素晴らしい。さらに窓下峠まで下ると、大岸壁の下に「中将さん」が祀られていた。少し登ると展望の



尾根歩きとなり、駿河湾の絶景を左手に見ながら歩くようになる。緩やかな尾根歩きで、「きらら展望台」等、何か所か展望台が続き、お嬢達の機嫌が良くなる。このころから反対側から登って来る登山者が多くなり、すれ違いに待つことが多くなる。海に近い山ならではの展望を楽しみながら歩き、志下坂峠まで下り、そこからまた急坂を登り返す。展望のないアップダウンを繰り返す、また不満の声が出始める。徳倉山への登りがきつく、着いたと思いきやまだ先になる。やっと山頂に着き、富士

山を確認するが山頂は雲の中に隠れていた。山頂の四角い穴に足を入れ、穴の縁に腰をおろしポン柑やチョコレートをいただく。我輩はここから先行し、香陵台の車を回収に向かった。

徳倉山からの下って行くと、大人数のグループが登って来た。止まって待つが、なかなか登ってこられない。リーダーの方が見かねて「先に降りてください」と譲ってくれ、降りさせてもらう。「山旅クラブ」と言うグループで、20名くらいが2グループ連なって登っていた。滑りやすい急坂をグングン下り、横山峠まで下って横山に登り返す。横山から急坂を下ると、八重坂峠の県道に出る。県道を左に進み、200mくらいで香貫山への登山口がある。道路を渡り階段を登って行くと舗装道に出て、右に登って行くと香貫山への入口があるが、道路を進んでも行けるのでそのまま歩いたが距離が長い。やっと香陵台に着き、車を回収して八重坂峠に向かう。八重坂峠の手前で皆さんと合い、Uターンし



て車に載せ沼津港市場へ向かった。市場駐車場への道が渋滞していたが、一つ手前の信号を左折し寿司屋の駐車場へ向かう。寿司屋の順番表に名前を書き、駐車場の前に車を止め空くの待つ。5分くらいで食事が済んだ客が出てきて、駐車場に無事止めることが出来た。

店の中で少し待つとテーブル席に案内され、好きなものをオーダーする。人気は超豪華寿司セットで、3400円が2800円になるサービスメニュー。皆さんはそれをオーダーし、我輩とWさん

は本マグロ豪華丼。本マグロがこれでもかと言うほど載り、生しらすと生桜エビ、アジも載っている。お寿司にはワタリガニが1匹入った味噌汁が付き、皆さん「美味しい、美味しい」と大満足。昼食が済み落ち着いたところで市場へ買い物ツアーに出かける。30分買い物を楽しみ、マグロカマ焼きやアジの干物をゲットし帰路につく。帰路は少し割高になるが、海老名 JCT から圏央道経由でスムーズに走ることが出来、5時前に岩舟支所に戻ることが出来た。